

# 金沢大学 タウン・ミーティング in 野々市



テーマ「ともに創り ともに育む 住み続けるまちづくり」

地域との対話を通じて連携を深めるため、金沢大学は1月27日、野々市市と共催で「金沢大学タウンミーティングin野々市」を開催しました。大学ではタウンミーティングを平成14年度から石川県内で毎年連続して開催しており、今回で12回目となります。会場となった同市情報交流館カメラには市民150人が訪れ、「ともに創り ともに育む 住み続けたいまちづくり」をテーマに話し合いました。

(文責・地域連携推進センター 宇野文夫)

2013年1月27日  
野々市市情報交流館

## 話題提供

「市民が主役のまちづくり ～地域に誇りと愛着を～」  
安嶋 是晴(人間社会研究域経済学経営学系 助教)

「地域資源の創出 ～野々市の個性を引き出すには～」  
大友 信秀(人間社会研究域法学系 教授)

「住み続けたい環境づくり ～生涯にわたる健康を～」  
佐川 哲也(人間社会研究域人間科学系 教授)



中村信一・金沢大学長 粟 貴章・野々市市長

開会挨拶で中村信一学長が「野々市にしかない資源を連携しながら発掘し、地域づくりに協力したい」と述べ、粟貴章市長は「野々市はコンパクトな市です。学術的な実験や実証が必要な際には、研究フィールドとしてぜひ活用いただきたい」と今後の連携に期待を込めました。



佐川哲也教授



大友信秀教授



安嶋是晴助教

市民・大学教職員ら150人が集ったタウンミーティング



## 第2分科会「地域資源の創出」

当初予定して佛田利弘氏(野々市産業戦略会議理事長)に代わり、大友信秀教授が座長となり、市民の意識づくりのための「市の個性」の創出から、地域特産のキウイを使った商品まで幅広く紹介されました。大学と地域が連携することで産学官の連携を進めてはどうか、そのために、若手のリーダーを育て、議論する場づくりが必要と話し合いました。



## 第3分科会「住み続けたい環境づくり」

松本泰治氏(石川県民大学校講師)が座長となり話し合われました。特に、人口は増えているものの持ち家率が45%であり、東洋経済新報社の「住みよさランキング」では全国2位であるものの、人と情報の交流の場がうまくもたれているかとなると疑問、一度本当に住みよいか行政と市民で総点検する必要があるのではないかと。住み続けるために、品格のある街づくりを目指したいとの意見が出されました。



## 第1分科会「市民が主役のまちづくり」

帆刈宏典氏(ののいち里まち倶楽部代表)が座長となって、市民参加の街づくりについて話し合いました。市民講座では、市の歴史(北国街道、富樫家など)をお掘り起こすなど市民にアイデンティティを高める学習の機会がもたれている。さらに情報の提供や発信する人材を育てて、行政と市民、民間企業が協働する仕組みづくりが必要など、話し合いました。

